

— 五輪前後に（事前：1万人＋事後：1千人）アンケート調査を実施 —

# リオ五輪の競技に関する調査

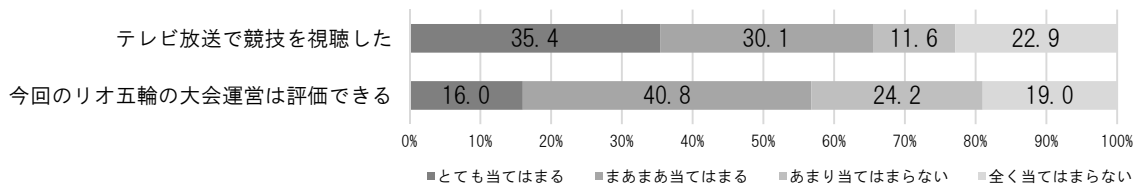
（調査期間：五輪前2016年7月26日～29日／五輪後2016年8月26日～28日）

## ■リオ五輪実施競技について

観戦率1位	満足度1位
<b>体操 男子団体</b>	<b>体操 男子団体</b>
感動度1位	関心度上昇1位
<b>卓球 女子団体</b>	<b>バドミントン 女子ダブルス</b>

## □行動・意識調査

- ・テレビ放送で競技を視聴した **65.5%**（「とても当てはまる」35.4%＋「まあまあ当てはまる」30.1%）
- ・今回のリオ五輪の大会運営は評価できる **56.8%**（「とても当てはまる」16.0%＋「まあまあ当てはまる」40.8%）



（ご参考）2020年 東京五輪実施競技について

<期待度> 1位:体操（72.8%） 2位:水泳（63.7%） 3位:柔道（61.6%）

<強化希望>

<b>陸上</b> (101票)	(理由) 「400Mリレーの銀メダル獲得で、世界とも戦えることがわかったので」（東京都／男性／50歳） 「男女ともマラソンの成績低迷が著しいから」（茨城県／男性／57歳）
<b>柔道</b> (69票)	(理由) 「日本の目指す柔道と、勝負にこだわる海外の柔道に差を感じたから」（山梨県／女性／40歳） 「日本発祥の競技なので、頑張してほしい」（愛媛県／男性／64歳）
<b>野球・ソフトボール</b> (61票)	(理由) 「日本の野球が世界一であることを証明してほしい」（香川県／男性／47歳） 「ソフトボールが北京五輪で金を獲得した時の感動をもう一度味わいたい」（広島県／女性／60歳）

■この資料に関するお問い合わせ先

産業能率大学 企画広報部企画広報課 電話：03-3704-9040 / E-mail：koho@hj.sanno.ac.jp

産業能率大学スポーツマネジメント研究所（所長：情報マネジメント学部教授 中川直樹）は、リオ五輪の前後に「リオ五輪の競技に関する調査」を実施しました。事前調査は7月26日から29日まで1万人を対象にリオ実施競技の「関心度」などを尋ね、事後調査は8月26日から28日まで事前調査の回答者から1千人を抽出し、「観戦率」や「満足度」などを追跡調査しました。いずれもインターネット調査会社を通じて実施しています。

（※リオ五輪の日本代表選手に関して、2016年9月5日に「リオ五輪の選手に関する調査」を発表しています。）

調査の結果、【観戦率】【満足度】1位は、2004年のアテネ五輪以来12年ぶりの金メダルを獲得した**体操男子団体**でした。事前調査と事後調査の比較から算出した【感動度】1位は、2大会連続でメダルを獲得した**卓球女子団体**、【関心度上昇】1位は“タカマツ”ペアが金メダルを獲得した**バドミントン女子ダブルス**となりました。

リオ五輪の観戦方法については6割以上（「とても当てはまる」35.4%+「まあまあ当てはまる」30.1%）が「テレビ放送」と回答し、ネット配信動画での視聴は16.2%（「とても当てはまる」4.1%+「まあまあ当てはまる」12.1%）にとどまりました。リオ五輪の大会運営については、過半数（「とても当てはまる」16.0%+「まあまあ当てはまる」40.8%）が“評価する”と回答しています。

調査の設計・分析は、過去の五輪（北京、バンクーバー、ロンドン、ソチ）でも調査を実施した同研究所の小野田哲弥研究員（情報マネジメント学部准教授）が担当しました。同研究所では、五輪前後にわたる調査によって競技の普及などスポーツマーケティングの研究に活かしてまいります。

### 調査概要

調査方法：インターネット調査

調査期間：①事前調査：7月26日～7月29日／②事後調査：8月26日～8月28日

調査対象：①20代～60代の男女 計1万人／②20代～60代の男女 計1千人（①から1千人を抽出して追跡調査）

※属性（地域・年代・性別）割付は、総務省平成25年人口推計比に準拠

各項目について：

観戦率 = リオ五輪実施競技のうち「視聴した」と回答された比率。

満足度 = 視聴した競技のうち「視聴してよかった」と回答された比率。（20競技まで）

感動度 = 事後調査「視聴してよかった」－事前調査「視聴したい」より算出。

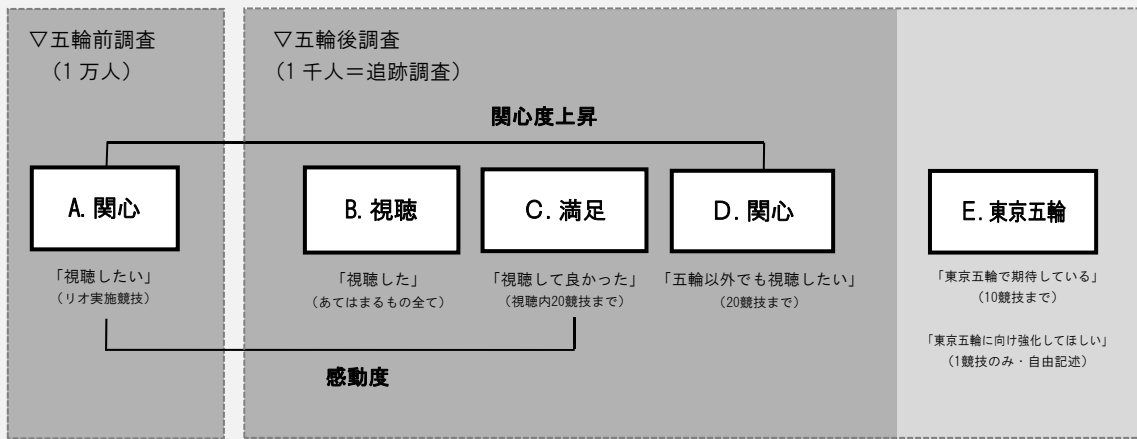
関心度上昇 = 事前調査「視聴したい」と事後調査「五輪以外でも視聴したい」の順位変化より算出。

<ご参考>2020年に開催される東京五輪で実施される競技について

期待度 = 2020年に東京五輪で実施される33競技のうち「特に期待している」と回答された数。（10競技まで）

強化してほしい競技 = 2020年東京五輪に向けて日本代表を強化してほしい競技と理由を自由記述にて回答。（1競技のみ）

### ▼分析フレーム



◆データ集（各項目ランキング）

<b>【観戦率】</b>	<b>【満足度】</b>																																																																																																																														
<p>1位 体操／男子団体</p> <p>2位 卓球／女子団体</p> <p>3位 競泳／男子</p> <p>＜観戦率＞1位は、2004年のアテネ五輪以来12年ぶりの金メダルを獲得した体操男子団体で、回答者の半数以上が同種目を観戦しています。</p> <p>メダルを獲得した競技は予選から試合を重ねるたびに放映時間（視聴機会）も増加するため、上位にはメダルを獲得した競技が並んでいます。</p>	<p>1位 体操／男子団体</p> <p>2位 卓球／女子団体</p> <p>3位 競泳／男子</p> <p>視聴した競技の中で、結果や内容に満足したものを20競技まで選択してもらいました。</p> <p>＜満足度＞1位は体操男子団体、2位は卓球女子団体、3位は競泳男子となりました。トップ20のうち、卓球女子シングルスとサッカー男子以外の18の競技で（金・銀・銅いずれかの）メダルを獲得しています。</p>																																																																																																																														
<p>【観戦率：トップ20】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>競技名/種目名等</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>体操/男子団体</td><td>52.1</td></tr> <tr><td>2</td><td>卓球/女子団体</td><td>49.8</td></tr> <tr><td>3</td><td>競泳/男子</td><td>46.9</td></tr> <tr><td>4</td><td>陸上/男子トラック</td><td>42.5</td></tr> <tr><td>5</td><td>卓球/女子シングルス</td><td>42.1</td></tr> <tr><td>6</td><td>レスリング/女子</td><td>40.6</td></tr> <tr><td>7</td><td>バドミントン/女子ダブルス</td><td>40.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>卓球/男子団体</td><td>38.3</td></tr> <tr><td>9</td><td>体操/男子個人</td><td>37.4</td></tr> <tr><td>10</td><td>柔道/女子</td><td>36.3</td></tr> <tr><td>11</td><td>テニス/男子シングルス</td><td>36.2</td></tr> <tr><td>12</td><td>柔道/男子</td><td>36.1</td></tr> <tr><td>13</td><td>卓球/男子シングルス</td><td>36.0</td></tr> <tr><td>14</td><td>競泳/女子</td><td>32.6</td></tr> <tr><td>15</td><td>バドミントン/女子シングルス</td><td>24.1</td></tr> <tr><td>16</td><td>サッカー/男子</td><td>20.4</td></tr> <tr><td>17</td><td>シンクロナイズドスイミング/女子</td><td>20.2</td></tr> <tr><td>18</td><td>ウエイトリフティング/女子</td><td>18.3</td></tr> <tr><td>19</td><td>マラソン/女子</td><td>18.2</td></tr> <tr><td>20</td><td>バレーボール/女子</td><td>17.2</td></tr> </tbody> </table> <p>※リオ五輪実施競技のうち「視聴した」と回答された比率。</p>	順位	競技名/種目名等	%	1	体操/男子団体	52.1	2	卓球/女子団体	49.8	3	競泳/男子	46.9	4	陸上/男子トラック	42.5	5	卓球/女子シングルス	42.1	6	レスリング/女子	40.6	7	バドミントン/女子ダブルス	40.0	8	卓球/男子団体	38.3	9	体操/男子個人	37.4	10	柔道/女子	36.3	11	テニス/男子シングルス	36.2	12	柔道/男子	36.1	13	卓球/男子シングルス	36.0	14	競泳/女子	32.6	15	バドミントン/女子シングルス	24.1	16	サッカー/男子	20.4	17	シンクロナイズドスイミング/女子	20.2	18	ウエイトリフティング/女子	18.3	19	マラソン/女子	18.2	20	バレーボール/女子	17.2	<p>【満足度：トップ20】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>順位</th> <th>競技名/種目名等</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>体操/男子団体</td><td>58.4</td></tr> <tr><td>2</td><td>卓球/女子団体</td><td>52.9</td></tr> <tr><td>3</td><td>競泳/男子</td><td>45.3</td></tr> <tr><td>4</td><td>陸上/男子トラック</td><td>45.0</td></tr> <tr><td>5</td><td>バドミントン/女子ダブルス</td><td>41.7</td></tr> <tr><td>6</td><td>卓球/男子団体</td><td>40.4</td></tr> <tr><td>7</td><td>レスリング/女子</td><td>39.0</td></tr> <tr><td>8</td><td>体操/男子個人</td><td>37.3</td></tr> <tr><td>9</td><td>卓球/男子シングルス</td><td>35.5</td></tr> <tr><td>10</td><td>卓球/女子シングルス</td><td>33.7</td></tr> <tr><td>11</td><td>柔道/男子</td><td>32.9</td></tr> <tr><td>12</td><td>テニス/男子シングルス</td><td>32.8</td></tr> <tr><td>13</td><td>柔道/女子</td><td>31.5</td></tr> <tr><td>14</td><td>競泳/女子</td><td>25.9</td></tr> <tr><td>15</td><td>バドミントン/女子シングルス</td><td>18.7</td></tr> <tr><td>16</td><td>シンクロナイズドスイミング/女子</td><td>14.7</td></tr> <tr><td>17</td><td>レスリング/男子</td><td>11.3</td></tr> <tr><td>18</td><td>ウエイトリフティング/女子</td><td>11.2</td></tr> <tr><td>19</td><td>陸上/男子競歩</td><td>7.3</td></tr> <tr><td>20</td><td>サッカー/男子</td><td>6.9</td></tr> </tbody> </table> <p>※視聴した競技のうち「視聴してよかった」と回答された比率。（20競技まで）データの信頼性を確保するため、回答数≥10の競技に絞ってランキングを作成。</p>	順位	競技名/種目名等	%	1	体操/男子団体	58.4	2	卓球/女子団体	52.9	3	競泳/男子	45.3	4	陸上/男子トラック	45.0	5	バドミントン/女子ダブルス	41.7	6	卓球/男子団体	40.4	7	レスリング/女子	39.0	8	体操/男子個人	37.3	9	卓球/男子シングルス	35.5	10	卓球/女子シングルス	33.7	11	柔道/男子	32.9	12	テニス/男子シングルス	32.8	13	柔道/女子	31.5	14	競泳/女子	25.9	15	バドミントン/女子シングルス	18.7	16	シンクロナイズドスイミング/女子	14.7	17	レスリング/男子	11.3	18	ウエイトリフティング/女子	11.2	19	陸上/男子競歩	7.3	20	サッカー/男子	6.9
順位	競技名/種目名等	%																																																																																																																													
1	体操/男子団体	52.1																																																																																																																													
2	卓球/女子団体	49.8																																																																																																																													
3	競泳/男子	46.9																																																																																																																													
4	陸上/男子トラック	42.5																																																																																																																													
5	卓球/女子シングルス	42.1																																																																																																																													
6	レスリング/女子	40.6																																																																																																																													
7	バドミントン/女子ダブルス	40.0																																																																																																																													
8	卓球/男子団体	38.3																																																																																																																													
9	体操/男子個人	37.4																																																																																																																													
10	柔道/女子	36.3																																																																																																																													
11	テニス/男子シングルス	36.2																																																																																																																													
12	柔道/男子	36.1																																																																																																																													
13	卓球/男子シングルス	36.0																																																																																																																													
14	競泳/女子	32.6																																																																																																																													
15	バドミントン/女子シングルス	24.1																																																																																																																													
16	サッカー/男子	20.4																																																																																																																													
17	シンクロナイズドスイミング/女子	20.2																																																																																																																													
18	ウエイトリフティング/女子	18.3																																																																																																																													
19	マラソン/女子	18.2																																																																																																																													
20	バレーボール/女子	17.2																																																																																																																													
順位	競技名/種目名等	%																																																																																																																													
1	体操/男子団体	58.4																																																																																																																													
2	卓球/女子団体	52.9																																																																																																																													
3	競泳/男子	45.3																																																																																																																													
4	陸上/男子トラック	45.0																																																																																																																													
5	バドミントン/女子ダブルス	41.7																																																																																																																													
6	卓球/男子団体	40.4																																																																																																																													
7	レスリング/女子	39.0																																																																																																																													
8	体操/男子個人	37.3																																																																																																																													
9	卓球/男子シングルス	35.5																																																																																																																													
10	卓球/女子シングルス	33.7																																																																																																																													
11	柔道/男子	32.9																																																																																																																													
12	テニス/男子シングルス	32.8																																																																																																																													
13	柔道/女子	31.5																																																																																																																													
14	競泳/女子	25.9																																																																																																																													
15	バドミントン/女子シングルス	18.7																																																																																																																													
16	シンクロナイズドスイミング/女子	14.7																																																																																																																													
17	レスリング/男子	11.3																																																																																																																													
18	ウエイトリフティング/女子	11.2																																																																																																																													
19	陸上/男子競歩	7.3																																																																																																																													
20	サッカー/男子	6.9																																																																																																																													

### 【感動度】

1位 卓球／女子団体

2位 バドミントン／女子ダブルス

3位 卓球／男子団体

事前調査の「関心度」と、事後調査の「満足度」から「感動度」を算出しました。

＜感動度＞1位は卓球女子団体でした。2位のバドミントン女子ダブルスと3位の卓球男子団体は、事前の関心度はそれほど高くなかったものの、リオ五輪での活躍により事後調査では高い満足度となり、上位にランクアップしています。

### 【関心度上昇】

1位 バドミントン女子／ダブルス

2位 卓球／女子団体

同 卓球／男子団体

事前調査の「関心度順位」と事後調査の「関心度順位」から「関心度上昇」を算出しました。

リオ五輪大会の前後で関心の順位が最も上がったのはバドミントン女子ダブルスで、事前調査から一気に「15」順位を上げました。2位は卓球女子団体・卓球男子団体がそれぞれ「13」順位を上げ、リオ五輪を機に関心度が大きく上昇しています。

#### 【感動度：トップ10】

順位	競技名/種目名等	Pt
1	卓球/女子団体 (事前:関心 21.4%→事後:満足 52.9%)	31.5
2	バドミントン/女子ダブルス (事前:関心 11.0%→事後:満足 41.7%)	30.7
3	卓球/男子団体 (事前:関心 12.51%→事後:満足 40.36%)	27.8
4	卓球/男子シングルス (事前:関心 13.57%→事後:満足 35.54%)	22.0
5	レスリング/女子 (事前:関心 25.0%→事後:満足 39.0%)	14.0
6	体操/男子団体 (事前:関心 45.5%→事後:満足 58.4%)	12.9
7	卓球/女子シングルス (事前:関心 23.67%→事後:満足 33.75%)	10.1
8	バドミントン/女子シングルス (事前:関心 11.2%→事後:満足 18.7%)	7.5
9	陸上/男子トラック (事前:関心 37.6%→事後:満足 45.0%)	7.4
10	テニス/男子シングルス (事前:関心 25.74%→事後:満足 32.78%)	7.0

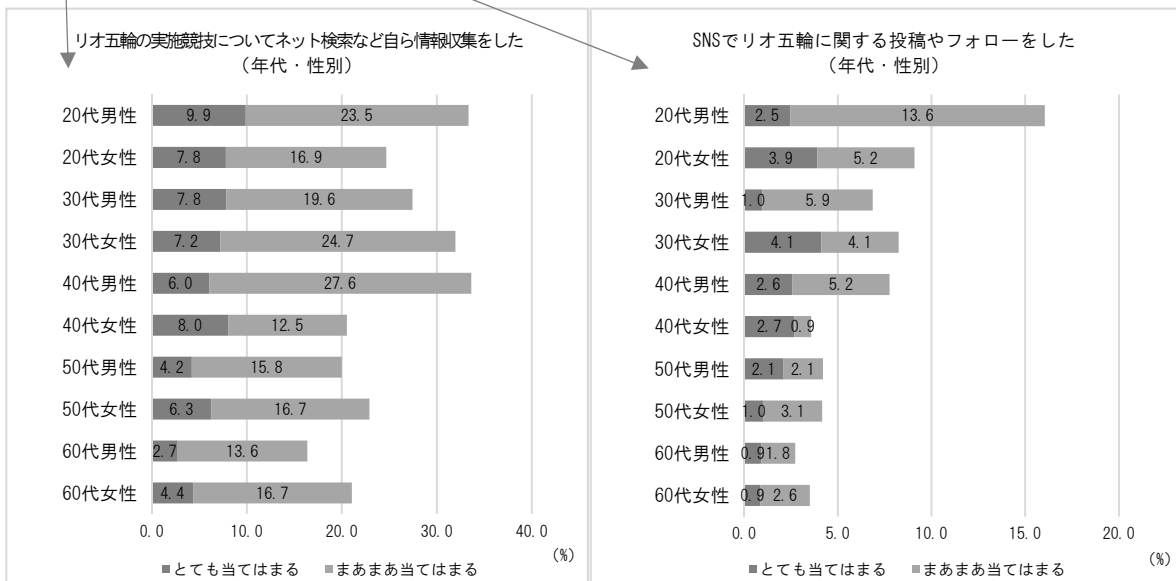
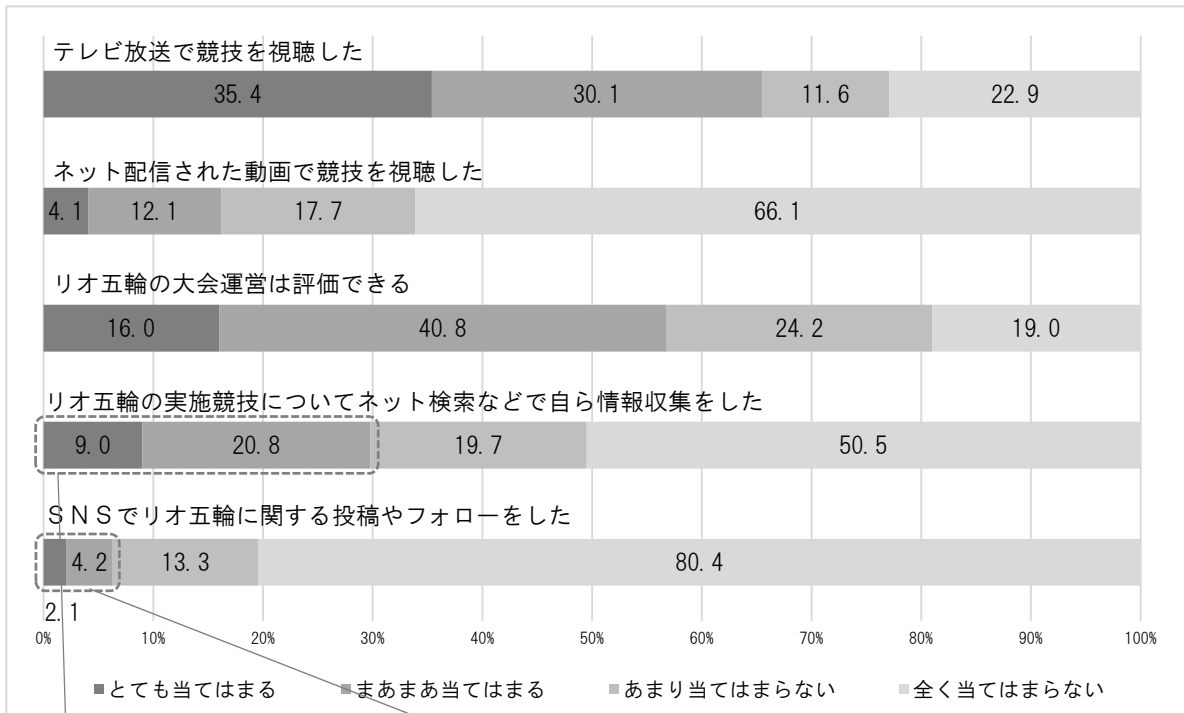
※事後調査「満足度」—事前調査「関心度」より算出。

#### 【関心度上昇：トップ10】

順位	競技名/種目名等	変化
1	バドミントン/女子ダブルス (事前 25位→事後 10位)	15
2	卓球/女子団体 (事前 15位→事後 2位)	13
	卓球/男子団体 (事前 22位→事後 9位)	
4	卓球/男子シングルス (事前 20位→事後 8位)	12
5	ゴルフ/女子 (事前 32位→事後 21位)	11
6	テニス/男子シングルス (事前 11位→事後 2位)	9
7	バドミントン/女子シングルス (事前 24位→事後 16位)	8
8	ラグビーフットボール/男子 (事前 29位→事後 22位)	7
9	卓球/女子シングルス (事前 13位→事後 7位)	6
10	ゴルフ/男子 (事前 28位→事後 23位)	5

※事前調査「関心度順位」—事後調査「関心度順位」より算出。

◆データ集（行動・意識調査）



リオ五輪の視聴方法について、6割以上が「テレビ放送」（「とても当てはまる」35.4%+「まあまあ当てはまる」30.1%）と回答し、ネット配信動画での視聴は16.2%（「とても当てはまる」4.1%+「まあまあ当てはまる」12.1%）にとどまりました。大会運営については、“評価する”（「とても当てはまる」16.0%+「まあまあ当てはまる」40.8%）が過半数を占めています。

リオ五輪の競技について「ネット検索で自ら情報収集をした」と回答したのは全体の3割程度で、属性別では40代男性が最も高くなっています。また「SNSでリオ五輪に関する投稿やフォローをした」とする回答は全体の6%程度で、属性別に見ると20代男性が他と比べて高くなっています。「とても当てはまる」とする回答で見ると、特に20・30代で男性よりも女性の方がSNSをよく活用していることが分かります。

◇ご参考：2020年東京五輪実施競技について

【期待度】			【強化希望】		
【2020年東京五輪 期待度：トップ10】			【2020年東京五輪 強化希望：トップ10】		
順位	競技名	%	順位	競技名	票
1	体操	72.8	1	陸上	101
2	水泳	63.7	2	柔道	69
3	柔道	61.6	3	野球・ソフトボール	61
4	卓球	60.1	4	卓球	60
5	レスリング	49.0	5	サッカー	56
6	陸上競技	46.0	6	体操	53
7	野球・ソフトボール	45.9	7	空手	31
8	バドミントン	45.1		水泳	
9	テニス	42.7		バレーボール	
10	サッカー	21.8	10	レスリング	15
※2020年東京五輪実施競技のうち「特に期待している」と回答された比率。(10競技まで)			※2020年東京五輪に向けて、「強化してほしい」競技を自由記述で尋ねた。(1競技のみ)		

【強化を希望する理由】 ※自由記述			
順位	競技名	主な理由	票
1	陸上	「400Mリレーの銀メダル獲得で、世界とも戦えることがわかったので」(東京都/男性/50歳) 「男女ともマラソンの成績低迷が著しいから」(茨城県/男性/57歳) 「トラックで1番になるところを見てみたい」(山梨県/男性/56歳) 「100Mで日本人選手が9秒台を出してほしい」(新潟県/男性/32歳)	101
2	柔道	「日本の目指す柔道と、勝負にこだわる海外の柔道に差を感じたから」(山梨県/女性/40歳) 「日本発祥の競技なので、頑張してほしい」(愛媛県/男性/64歳) 「銅でも悔しそうな選手が多かったので、次の東京五輪では金メダルをとってほしい」(兵庫県/女性/29歳) 「一本を取る柔道スタイルを貫きながら結果も出してほしいから」(福岡県/男性/58歳)	69
3	野球 ・ ソフトボール	「日本の野球が世界一であることを証明してほしい」(香川県/男性/47歳) 「ソフトボールが北京五輪で金を獲得した時の感動をもう一度味わいたい」(広島県/女性/60歳) 「北京五輪以来3大会ぶりに競技に復活するため」(愛知県/男性/23歳) 「金メダルを獲得するための国際試合の経験が少ないと思うから」(神奈川県/男性/56歳)	61

以上